

Xpand X Series

新世代の液晶シャッターメガネが登場

Xpand X シリーズ X101

デジタル 3D シネマやバーチャルリアリティを
より身近な経験に！



Page - 1

XPAND X シリーズ X101 は、3D ビジュアリゼーションの分野で世界的に有名な X6D 社の新製品です。従来の液晶シャッターメガネの弱点であった、サイズの大きさ、LCD の輝度、価格といった点を改良し、スタイリッシュで使いやすい製品を完成しました。



特徴

- 映画館や劇場で、デジタル 3D シネマや 3D コンテンツの映像をご覧頂くことができます。
また、バーチャルリアリティシステムで 3D 映像 をご覧頂く事ができます。(* プロジェクター、コンテンツ、サーバー側の 3D 対応が前提です。)
- サイズ、デザインは一つです。大人と子供両方使えます。
- バッテリーは交換型であり、1 回の交換で約 300 時間使えます。バッテリー交換は簡単にできます。
とても経済的です。
- 信頼性および耐久性に優れており、X6D 社での実験では、3D コンテンツ (映画) 2000 回分の上映時間の後でも問題なく稼動しました。
- XPAND X シリーズは、クロストークを防止し、暗号化された IR 信号での通信を行います。
- バッテリー寿命の節約やシアターでの管理軽減の為、コンテンツの上映に合わせて IR を感知し自動的にスイッチのオンオフを行います。
- 2D で使われている通常のスクリーンのみで 3D コンテンツの上映が出来、全ての席での 3D 体験が可能です。
また、特殊 (シルバー) スクリーンは不要です。シルバースクリーン上で 2D コンテンツを上映するとホットスポットの問題が起こったり、ビューアングルが狭くなってしまう弱点がありますが、これらを回避することができます。
- 3D では多くの輝度が要求されます。X シリーズでは優れたシャッター技術により、15% 以上の透過率で明るいイメージを提供します。



XpanD X Series

新世代の液晶シャッターメガネ
Xpand X シリーズ
X101



Page - 2



- 透過率(光効率)がよいので、DC プロジェクター側のランプ出力設定を normal lamp 設定とすることができます。(通常他の製品では、increased lamp output 設定)これによってランプ寿命を約 80% 延ばせます。
- IR の範囲が拡大しましたので、世界最大規模の映画館でも利用可能です。
- 将来モデルでは、クロストークを防ぐために、メガネとエミッターの間での無線通信をサポートする予定です。
- “IR ブラックホール”を防ぎ、シアター中どここのシート位置にいても最適な 3D 経験ができます。
- 100% DLP - 0.98 inch と 1.2 inch 両方の DLP シネマチップをサポートします。
- インストールが簡単なので、大劇場や小劇場でコンテンツの切替上映に柔軟に対応できます。
- 盗難防止やメガネの在庫管理には、サードパーティの RFID システムソフトウェアとハードウェアを購入することで可能となります。また、キャッシングカードのオプションを XPAND では用意しています。

●製造元：XPAND (X6D Limited)

○製品の仕様・内容および外観は予告なく変更されることがございますので、予めご了承ください。○会社名・製品名は各社の商標もしくは登録商標です。○このパンフレットの記載内容は、2012年6月現在のものです。

■ 輸入・発売元



ユニバーサル・ビジネス・テクノロジー株式会社

〒100-0005 東京都千代田区丸の内 1-6-5 丸の内北口ビル 12F
TEL 03-3287-1170 FAX 03-3287-1171
URL: www.ubtc.jp sales@ubtc.jp

■ お問い合わせ

201206V2